



2023.

12

広報

おおくわ

- 令和5年度 大桑村表彰式 2～3 P
- シェルビービル市訪問団来村 4～5 P

No.590

令和5年度 大桑村表彰式



11月3日、令和5年度大桑村表彰式が役場多目的ホールで行われました。

昨年度、新型コロナウイルス感染症により1年遅れての開催となっていたため、2年連続の開催となりました。

受賞者を代表して、櫻井秀夫さん（下在2）は「健康な身体とこの年齢まで働けることに感謝し、微力ながら村に貢献していききたい」と謝辞を述べました。

今年度は、功労表彰2名を始め、計17名が表彰されました。受賞された方々は次のとおりです。
（敬称略）

功労表彰受賞者

下起 幸一

平成4年10月に初当選以来7期26年にわたり議会議員として活動し、平成20年9月から平成27年4月まで、第15代大桑村議会議長として、村政の発展と地域の振興に多大な貢献をされました。

櫻井 秀夫

平成15年5月に大桑村商工会理事に就任以来、長年にわたり商工会活動に尽力され、平成24年5月から令和3年5月までの9年間は、大桑村商工会長としての重責を全うし、商工業の振興と観光振興に多大な貢献をされました。



▲ 受賞者による謝辞

功績表彰受賞者

岩佐 孝和

平成11年4月に初当選以来6期24年にわたり議会議員として活動し、平成27年5月から令和5年4月までの2期8年間は第16代大桑村議会議長として、村政の発展と地域の振興に多大な貢献をされました。

公職等 勤続表彰受賞者

白木 正

大桑村教育委員として12年以上、大桑村統計調査員として15年以上勤続され、教育行政の発展及び村統計業務に貢献されました。

山本 由幸

大桑村教育委員として8年間、人権擁護委員として9年以上務められ、教育行政の発展へ貢献され、人権啓発に尽力されました。

科野 信彦

大桑村統計調査員として15年以上勤続され、村統計業務に貢献されました。

消防団員 勤続表彰受賞者

登玉	慎二 (22年)
金澤	燈 (22年)
中谷	基樹 (24年)
今井	康貴 (26年)
太田	将之 (18年)
中野	智仁 (22年)
大畑	一喜 (26年)
田中	浩志 (19年)
古根	将 (22年)
東	敦史 (24年)
下原	実 (18年)

長年にわたり消防団へ勤続し、大桑村の消防治安に尽力されました。



百歳祝賀

100歳の誕生日を迎えた、上田喜美子さん（上郷）、古瀬清子さん（殿中）に村から、内閣総理大臣、長野県知事、大桑村長からの祝い状のほか、長寿祝い金と祝い品として銀杯が贈呈されました。

長寿や健康の秘訣を聞くと、上田さんは「畑で野菜や花を育てるのが好き」と話してくださいました。

古瀬さんに100歳を迎えてと尋ねると「100歳はまだ若い。周りにはもっと年上の人が多くいる」と語り、自身が元気な理由として、デイサービスで新聞紙を折ってごみ袋を作ることがいいのかもしれないと話してくださいました。



▶上田喜美子さん



▶賞状を受け取る古瀬清子さん

シエルビービル市訪問団来村

10月13日から17日までの5日間、アメリカ合衆国イリノイ州シエルビービル市から、訪問団7人が来村しました。

村とシエルビービル市は平成9年に姉妹都市提携を締結以来26年間、相互に訪問し交流を深めてきました。

令和2年からコロナ禍により交流を中止していましたが、今年度、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に指定されたこともあり、4年ぶりに交流を再開しました。

今回は高校生のリリー・ウーレリーさんとイザベラ・ミラーさん、ソフィア・リンチさんと、随行者としてシエルビービル市に工場があるIHI Americas Inc.社員のロバート・ヒース・シャットさん、教師のロズリン・シャットさん夫妻、シエルビービル市の警察官ポール・ベネットさんと教師のクリスティン・ベネットさん夫妻の7人が来村しました。

高校生はリリーさんが武居直樹さん（弓矢下）宅に、イザベラさんが高杉正樹さん（下在1下）宅、

ソフィアさんが原田耕作さん（長野西）宅にホームステイし、ホストファミリーと交流を深めました。滞在期間中には、ホストファミリーの高校生が通う木曽青峰高校に通学し、日本の高校生活の体験もしました。

随行者一行は、役場、保育園、小中学校、（株）HIターボなどの村内施設を視察したほか、歴史民俗資料館、須原宿、開田高原、御嶽山、妻籠宿と、木曾・大桑の歴史、文化、自然に触れました。



民宿すはらで



ホストファミリーのみなさんと



定勝寺



珈琲 刀の前で



小学校の視察



図書館の視察

ホストファミリーから

ホストファミリーにアンケートを行い、次のような感想をいただきました。



意見・感想(抜粋)

- ▼初めてで大変だったが、生活の違いや、生の英語を体験できて良かった。
- ▼食事をあまり食べなかった。ので、食事に気を使った。
- ▼滞在期間がもう2、3日長いと違うコミュニケーションが取れたと思う。
- ▼帰国後「second family」という言葉を使ったメールが届き、ホストファミリーをやって良かったと感じた。
- ▼日本とアメリカの違いや、文化を知ることができ良かった。
- ▼阿寺溪谷や森の里の秋まつりに一緒に行くことができ、日本・大桑村について知ってもらえることができ、嬉しかった。
- ▼最初は英語を話すことに抵抗があったが、自分のつ

たない英語を理解してくれ、コミュニケーションをたくさんとることができ、より英語が好きになった。

▼今の自分の語彙力を知ることができ、さらに相手に伝える英語がしゃべりたいと思えるようになった。

お忙しい中、ホームステイへのご協力ありがとうございました。



大桑村の国際交流事業は村民、特に子どもたちへの豊かな経験の提供を目的に実施しています。今後、国際交流事業は令和6年度に渡米、令和7年度に来日とコロナ禍以前同様に相互訪問による交流を予定しています。現在は公的な交流が主体となつていますが、民間交流も今後大切になってきます。国際交流に関する提案等がありましたら、総務課企画財政係までご連絡ください。

問い合わせ先

総務課企画財政係

TEL * 55 - 3080

このページの写真はホストファミリーに提供していただきました。

野間読書 推進賞受賞

原田紗千子さん（下在1下）が、第53回野間読書推進賞を受賞しました。

同賞は、昭和46年から公益社団法人読書推進運動協議会が毎年主催しており、地域で読書推進活動に貢献した人及び団体を顕彰するものです。原田さんは、「ぶんこモモ」を長年運営してきたことなどが高く評価されました。個人の受賞は県内2人目となります。

原田さんは受賞のあいさつで「文庫は本を通して一人ひとりと向かい合えるもの。本と人とのつながりが広がっていくのはとてもうれしい」と受賞の喜びを語りました。



▲受賞した 原田 紗千子さん

三中学生 職場体験

この記事は、職場体験として役場企画財政係の業務を体験した、中学2年生の生徒2人が作成したものです。

10月24日、25日に中学2年生

が職場体験学習を行い、村内外の事業所で様々な仕事を体験しました。これは、働くことの意味や喜びを知り、郷土の職場や産業への理解を深めることなどを目的に事業所の協力を得て行われたものです。

「デイリーヤマザキ」では、小幡心菜さん、新家峻吾さんが



▲商品の並びを整理する 小幡 心菜さん

品出しや接客を体験しました。小幡さんは、「お客様が気持ちよく買えることができるように態度や笑顔に気をつけて取り組んだ」新家さんは、「お客さんが見やすいように、商品を手前に出したり、不良品がないか確認したりした」「レジ操作や接客が難しかった」と話しました。お客さんとの交流を通して、学校生活では学べないことを経験できた貴重な機会となりました。

「野高モータース」では、中島涼太さんが車の整備を体験しまし



▲商品を補充している 新家 峻吾さん

た。ほかの人の車を扱うということとで、丁寧に、細かいところまできれいに洗車をしていました。中島さんは、「傷つけないように丁寧に、自分のできる範囲で精いっぱい業務をした」と話しました。また、野高モータースの方は「仕事を手伝ってもらってありがたい」と話していました。

2日間学んだことを中学校に戻っても大切にしてこれからの学校生活や、進路選択に生かしたいと思えます。



▲丁寧に洗車をする 中島 涼太さん

水道管の凍結にご注意ください

冬は、水道管の凍結に注意が必要です。水道管内の水が凍結すると、水道管が破裂し、漏水します。

水道メーターから家屋側の水道管は利用者の責任で管理することになっています。家屋側の漏水による水道管の取り換え・修理費等は利用者の負担となるため、日頃から適切な管理をしてください。

安心して水道を使えるように、次のような対策をしてください。

❗凍結しやすい箇所

- 露出管
- 家屋の北側や日陰、風当たりの強いところにある水道管
- メーターボックス内

❗凍結防止策

- 屋外の露出管へ凍結防止電熱帯を設置。電熱帯の電源の確認
- 屋内の水道管へ、市販の保温

材や布等を巻き付ける

- メーターボックスの中に、布や新聞紙、発泡スチロールを袋詰めにしたものを入れる

❗長期間家を空ける時には担当係までご相談ください。

※万が一、水道管が破裂したときは、水道工事業業者に修理を依頼してください。



▼問い合わせ先
建設水道課 上下水道係
TEL * * 55・3080

年末年始の 休館と休業

くわちゃんバス・乗合タクシー
12月29日(金)～1月3日(水)

大桑保育園
12月29日(金)～1月3日(水)

子育て世代抱括支援センター(まめっこ)
12月29日(金)～1月3日(水)

大桑村図書館
12月28日(木)～1月3日(水)

野尻連絡所・須原郵便局・各種証明書発行 12月29日(金)～1月3日(水)

リサイクルステーション閉鎖(役場上、くわっこ工房横)
12月28日(木)17時～1月4日(木)8時30分

ごみ収集
12月29日(金)～1月3日(水)
【年末特別持ち込み】※可燃ごみ
12月29日(金) 午前9時～午後3時
木曾クリーンセンター TEL 24-3131

汲み取り
12月29日(金)～1月3日(水)
※年内の汲み取り受付は22日(金)まで
(有)環境サービス TEL 52-2587

村民体育館
12月29日(金)～1月3日(水)

地域おこし 協力隊です。

奥野 宏

今年も残すところあとわずかとなりました。大桑での暮らしは4年目を迎え、四季の気候の変化にも慣れてきたと思いきや、今年の夏は酷暑と残暑厳しく身体に堪えました。毎年異常気象ですね。

そんな酷暑から秋に変わりきらない秋分の日より1か月間、「土着とストリート」と題してラ・モラ（改装中の和村古民家）を会場に木曾郡、東北、関東、関西、遠くはメキシコより総勢14名のアーティストを招き展覧会を開催しました。元養蚕農家ということもありオープニングセレモニーでは桑の木を植樹を行い、養蚕にまつわるテーマの作品も幾つか展示されました。

展覧会初日には「かいころく」と題した戦時下の日本を舞台に人と蚕の関わりを描いた作品を上演しました。

展覧会関連行事として大桑小学校全学年でも、養蚕をテーマにワークショップを行いそこで児童のみなさんが作った作品も展示しました。実際に蚕を飼って繭の張り方や蚕の生態を観察

した人にワークショップを行ってもらいました。はじめて蚕の幼虫の写真、実際の繭を見る子どもたちも多く、実際に繭を手に取り蚕の生態を知ることで大桑村の養蚕について学ぶ良い機会になったのではないかと思います。

展覧会のタイトルにもある「ストリート」は「街道文化」というテーマで須原ばねそ保存会の方々の協力で、関連イベントのファッションショーでは、須原ばねそを披露していただきました。ファッションショーでは未来の農夫をコンセプトに古民家等から出てきた古着を再利用した服を大桑村、木曾郡のモデルの方々に着ていただき歴史民俗資料館の回廊を舞台に歩いていただきました。

大桑村の養蚕、日本の繊維産業の衰退から現在の衣料自給率2%



▲ GR19 ファッションショー「須原ばねそ」

という現状に少しでも関心を持つきっかけになったのではないかと思います。

まだまだコロナ、インフルエンザ感染症は完全に終息しておりませんが「森の里の秋まつり」をはじめ徐々に村の催しものも行われるようになってきました。「森の里の秋まつり」ではメキシコで買付けした民芸品や大桑焼を販売させていただきました。コロナ禍真っ只中に大桑村に移住してきたのはじめての大規模行事で村民の方々の楽しそうな様子がとても印象的でした。

まだまだ絶賛改装中のラ・モラですが村の方々に知ってもらえるように来年度も展示会、イベントを企画していきたいと思っております。



▲ 土着とストリート展会場「la mora」にて

年末は 交通事故に注意

冬は降雪や凍結により道路環境が悪くなる季節です。特に年末は、飲酒や夜間に出歩く機会が増えるため、交通事故に一層の注意が必要です。

次のポイントを再確認し、日頃から交通安全を意識して行動しましょう。

1 夜間の交通事故防止

夜間の外出時は、夜光反射材や自発光材を使用して自分の存在をアピールしましょう。

2 高齢者の事故防止

高齢になるにしたがって、身体機能が変化します。丁寧な安全確認を心がけましょう。

また、運転に不安を感じたら、警察署や役場に相談しましょう。

3 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大事故の原因となります。被害者も加害者も一瞬で人生を棒に振ってしまいます。飲酒運転をしない、させない、許さない環境を作りましょう。

保健だより

TEL ** 55-4003 (直通)
mail cent@vill.okuwa.lg.jp

竹腰 梨花 保健師

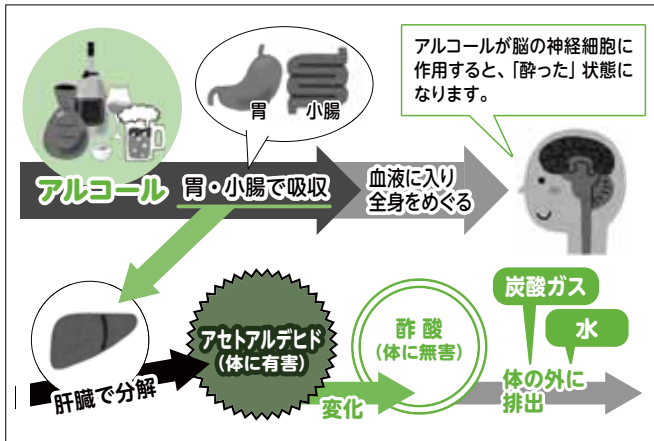
気を付けて 「急性アルコール中毒」

令和5年も残すところあとわずか。年末年始といえは忘年会・新年会でお酒を飲む機会が多くなります。アルコールは適量であれば、食欲増進、血行促進、ストレス緩和等、体へのメリットだけでなく人と人との円滑なコミュニケーションにも役立ちます。しかし、飲み方を間違えると急性アルコール中毒などにより命を落とす危険性があります。今回はお酒を飲む機会が増えるこの時期に気を付けたい「急性アルコール中毒」について紹介します。

アルコールの代謝

アルコールを飲むと、20%は胃がゆっくり吸収し、大部分は小腸で速やかに吸収されます。吸収さ

れたアルコールは血液に入り全身にいきわたります。アルコールが脳に達すると、脳の神経細胞に作用し、脳の働きを麻痺させます。これが酔った状態ということです。胃・小腸から吸収されたアルコールが肝臓に運ばれると、肝臓でアルコールは「アセトアルデヒド」という有害物質に分解されます。アセトアルデヒドは、顔が赤くなったり、動悸、吐き気、頭痛などの原因になります。さらにアセトアルデヒドは無害な「酢酸」に分解され、酢酸は、最終的に水や炭酸ガスとなり体の外に排出されます。



▶アルコール分解のイメージ図

急性アルコール中毒とは

急性アルコール中毒とはアルコールを短時間に多量に飲むことにより、意識障害を生じるものです。アルコールは脳に作用します。脳には生命を維持するための呼吸や心拍を維持するための役割があるため、短時間に多量のお酒を飲み、血液中のアルコール濃度が急上昇すると、脳の機能が麻痺し、呼吸や心拍を低下させ、最悪亡くなることもあります。また、嘔吐した際に吐物を喉に詰まらせて窒息することや、交通事故に遭うおそれもあります。東京消防庁の調査では、急性アルコール中毒によって東京消防管内だけで毎年1万人以上の人が救急車で病院に運ばれています。



急性アルコール中毒になりやすい人

日本人はアルコールを分解する力が弱い人が多く、5%の人は全く分解できないともいわれています。飲酒後に顔が赤くなる人はアルコールの分解が遅いためリスクが高まります。女性、高齢者もアルコールの分解機能が弱い傾向にあります。また、若者は無理な飲酒をする傾向があるためか、急性

アルコール中毒で搬送される人は20代が最も多くなっています。

急性アルコール中毒の予防

① 短時間に多量の飲酒をしない

血液中のアルコール濃度が最も高くなるまでには飲んでから時間がかかります。飲んだ直後はなんともなくても、その後に体調が悪化する可能性があります。場を盛り上げるために一気に飲みをすること、させることは絶対にやめましょう。

② 適量を守る

アルコールの代謝能力は人それぞれですので、自身の適量を知りましょう。また、その日の体調にも左右されるため、体調の悪い日の飲酒は控えるにしましょう。

③ 空腹時の飲酒をしない

空腹時の飲酒はアルコールの吸収が早くなるため、アルコールの血中濃度が急激に上がります。そのため、食べながら飲むことがおすすめです。

お酒を飲む際には以上のポイントに気を付けて、楽しい年末年始を過ごしましょう。





道路除雪作業に ご協力をお願いします。

除雪作業は、通常10～15cm程度の積雪を目安に出動し、村内163路線、約102kmの除雪を行っています。

積雪時には村内の建設等関係業者16社の協力により、通園、通学バス路線や交通量の多い幹線道路を優先的に、早朝から一斉に作業を行います。降雪の状況によっては作業が遅くなってしまう地域があります。

除雪作業について次の点にご協力ください。作業に伴う騒音振動などご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いします。

除雪作業について次の点にご協力ください。

路上駐車はしない

路上に駐車車両があると周辺の除雪ができず、除雪作業に大きな支障となります。路上駐車をしないようにお願いします。

除雪車に近づかない

除雪車の近くは、運転手から死角となり大変危険です。特にお子さんやご年配の方はご注意ください。

玄関先等の除雪

除雪車による作業の後は、玄関先等に雪が残ってしまいます。地域の皆様のお力で除雪をお願いします。

道路沿いの竹木

雪の重みで道路へ覆いかぶさり通行の妨げになります。降雪前に私有地の竹木の点検をお願いします。



身近な道路の除雪や融雪剤散布にご協力ください。

例年通り村内各所に融雪剤を配布しますのでご利用ください。融雪剤の補充や、指定場所以外の村道等で必要な場所がありましたら、役場建設係まで連絡してください。



▲ 融雪剤置き場の例
ほかにもドラム缶や入れ物なしの場合もあります。



▲ 除雪作業の様子

お問い合わせ先

- ▶ 国道に関すること：飯田国道事務所 木曾維持出張所
- ▶ 県道に関すること：木曾建設事務所 維持管理課
- ▶ 村道に関すること：大桑村役場 建設水道課 建設係

TEL 22-3011
TEL 25-2239 (直通)
TEL **55-3080

1月の行事予定

1月
2火
3水
4木 官公庁仕事始め 狼煙上げ
5金
6土 押しレコ！（図書館）
7日 消防団出初式（小学校）
8月
9火 健康教室（野尻地区館） 三保期始め（保育園） 三学期始業式（小学校・中学校）
10水 ゴールデンシューズの日（スポーツ公園）
11木 らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
12金 スキー教室（小学校）
13土
14日
15月
16火 健康教室（野尻地区館）
17水
18木 らくらく筋トレ教室（野尻地区館） 新入生保護者説明会（中学校）
19金 なんでも相談（役場）
20土 図書館deシネマvol.14（図書館） 立志式（中学校）
21日
22月
23火 健康教室（野尻地区館）
24水
25木 らくらく筋トレ教室（野尻地区館）
26金
27土 図書館おはなし会（図書館）
28日
29月
30火
31水

※都合により、変更・中止になる可能性があります。



教室	会場	時間	開催日
英会話	①	14:00	10、17、24、31
英会話	①	19:30	10、17、24、31
押し花教室	②	10:00	19
パッチワーク	⑦	9:30	休み
レザークラフト	⑦	9:30	休み
陶芸教室	④	10:00	休み
コール・マルベリー	①	19:30	17、24
	②	19:30	10、31
詩吟岳風会大桑教室	⑥	13:00	9、16、23、30
大正琴糸瀬会	③	13:00	9、23
リフレッシュヨーガ	⑦	19:00	10、17、24、31
ヨガ	②	14:00	13、27
あゆみ整体教室	⑦	19:00	休み
フラ教室〈昼〉	③	13:30	休み
フラ教室〈夜〉	③	19:30	休み
大桑ダンシングフレンズ	⑤	14:00	6、20
日本舞踊はなやぎ会	⑤	14:00	13、27
池坊いけばな教室	③	12:30	16、30
笑いヨガ	②	13:30	休み

会場 ①役場、②野尻地区館、③須原地区館、④殿分館、
⑤村民体育館、⑥橋場分館、⑦弓矢分館
※各教室とも随時参加者を募集しています



10月・11月の できごと

10/28 わくわく隊 須原散策



11/2
保育園
遠足



11/22
保育園
収穫祭



10/20
小学校
音楽会

11/24 小学校 マラソン記録会



11/27 中学校
3年生と役場の懇談会



村の人口

1,495 世帯 (前月比 ±0 世帯)		男 (人)	女 (人)	計 (人)
出 生	0	0	0	0
死 亡	0	4	4	4
転 入	3	0	0	3
転 出	1	0	0	1
総 人 口 (前月比)	1,618 (+2)	1,716 (-4)	3,334 (-2)	

(12月1日現在・住民基本台帳登録人数)

1月の緊急当番医

日	緊急医名	電話番号
1日(月)	原内科医院 (木曾町福島)	22-2678
2日(火)	芦沢医院 (上松町)	52-2018
3日(水)	古根医院 (大桑村)	55-1188
7日(日)	大脇医院 (上松町)	52-2023
8日(月)	田沢医院 (木曾町開田)	44-2008
14日(日)	奥原医院 (木祖村)	36-2264
21日(日)	王滝村診療所 (王滝村)	48-2731
28日(日)	原内科医院 (木曾町福島)	22-2678

木曾病院 (木曾町福島) TEL 0264-22-2703
 坂下診療所 (中津川市坂下) TEL 0573-75-3118
 中津川市民病院 (中津川市) TEL 0573-66-1251

表紙によせて

11月22日、中学2年生の授業で赤ちゃんとのふれあい体験学習が行われました。

生後3ヶ月から1年未満の赤ちゃんとお母さんにご協力いただき、赤ちゃんの抱っこ体験や手遊びなどの見学を行いました。

1週間前に事前学習として助産師から講義を受け、抱っこの練習などをして臨んだ中学生は、緊張しながらも抱っこしたり、おもちゃと一緒に遊んだり普段なかなかできない赤ちゃんとのふれあいを楽しんでいるようでした。

